

製品名: FGFR-5 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10951**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	54kDa

抗原情報

遺伝子名	FGFRL1 FGFRL1; FGFR5; FHFR; Fibroblast growth factor receptor-like 1; FGF receptor-like protein 1;
別名	FGF homologous factor receptor; FGFR-like protein; Fibroblast growth factor receptor 5; FGFR-5
遺伝子 ID	53834.0
SwissProt ID	Q8N441
免疫原	FGFR-5 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 130-210

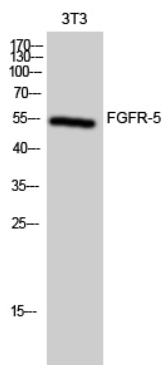
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は線維芽細胞増殖因子受容体 (FGFR) ファミリーのメンバーであり、アミノ酸配列はメンバー間および進化を通じて高度に保存されています。FGFR ファミリーのメンバーは、リガンド親和性と組織分布において互いに異なります。代表的な全長タンパク質は、3つの免疫グロブリン様ドメイン、1つの疎水性膜貫通セグメント、および細胞質チロシンキナーゼドメインからなる細胞外領域で構成されます。このタンパク質の細胞外部分は線維芽細胞増殖因子と相互作用し、下流シグナルのカスケードを開始させ、最終的に有糸分裂誘発と分化に影響を与えます。この遺伝子産物と他のファミリーメンバーとの顕著な違いは、細胞質チロシンキナーゼドメインを欠いていることです。その結果、他の受容体と相互作用する可能性のある膜貫通受容体が作製されました。機能: 細胞増殖に悪影響を及ぼします。類似性: 3つの Ig 様 C2 型 (免疫グロブリン様) ドメインを含みます。細胞内局在: 主に細胞膜に局在しますが、ゴルジ体や分泌小胞にも検出されます。サブユニット: FGF2 と低親和性で相互作用します。組織特異性: 軟骨組織と脾臓で優先的に発現します。肝臓、腎臓、心臓、脳、骨格筋で高い発現を示します。肺、小腸、脾臓では弱い発現を示します。、

研究分野

-

画像データ



FGFR-5 ポリクローナル抗体を用いた 3T3 細胞のウェスタンブロット解析